

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	5年間（2015年8月19日～2020年8月18日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」）といえます。）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」）といえます。）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
	為替ヘッジなし	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコモディティ・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 マザーファンドの純資産総額の10%以下 株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売差益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ新グローバル・  
ハイブリッド証券ファンド  
（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）  
第3期  
（決算日 2017年2月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第3期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5668>

<5669>

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			公社債組入比率	投資受組 資益入	信託証券 証比率	純資産総額	
		税金	込	み					期
	円	分	配	金	騰	落	率	円	
1期末（2016年2月18日）	9,541			130	△3.3		0.0	99.1	10,832
2期末（2016年8月18日）	9,862			230	5.8		0.0	100.0	11,269
3期末（2017年2月20日）	9,831			200	1.7		0.0	98.5	9,093

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

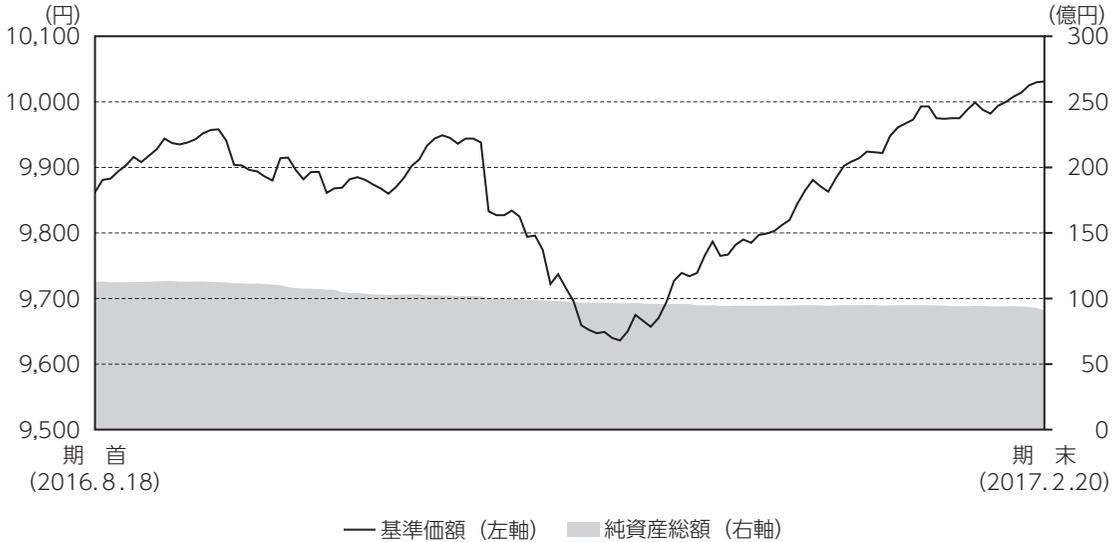
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,862円

期末：9,831円（分配金200円）

騰落率：1.7%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、主にC o C o債（※）が堅調な推移となり基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率	率				
(期首) 2016年 8月18日	円 9,862	% -	% 0.0			% 100.0
8 月末	9,944	0.8	0.0			99.1
9 月末	9,893	0.3	0.0			99.6
10月末	9,944	0.8	0.0			99.5
11月末	9,650	△2.1	0.0			98.9
12月末	9,820	△0.4	-			99.3
2017年 1 月末	9,975	1.1	0.0			99.1
(期末) 2017年 2月20日	10,031	1.7	0.0			98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016.8.19~2017.2.20)

### ■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は上昇しました。

期の初めは、英国のEU（欧州連合）離脱派の勝利による動揺も落ち着き、買い戻しの動きから金融ハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。その後2016年11月に入ると、米国大統領選挙におけるトランプ氏の勝利を受けて米国金利が急騰したことや、英国の金融機関が足元の低金利環境を考慮し永久劣後債の初回コールを行なわない方針を示したことなどを背景に、金融ハイブリッド証券市場は軟調に推移しました。しかし12月以降は、トランプ新政権の拡張的な財政政策への期待を背景に投資家のリスク選好の動きが継続し、金融ハイブリッド証券を含むクレジット市場は全般的に堅調に推移しました。資産別では資本性の高いC o C o債が堅調でした。

## 前期における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主として、ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」といいます。）への投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券等からの収益を享受することをめざします。

### ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクの低減を図るため為替ヘッジを行ないます。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016.8.19~2017.2.20)

### ■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持しました。

## ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

G-SIFIs（金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。資産別では、優先証券（従来型）、C o C o債、米国優先証券を中心に投資を行ないました。国・地域別では規制強化により財務改善がより進んでいる米国の金融機関の比率を高めとしました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

## ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は200円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年8月19日 ～2017年2月20日	
当期分配金（税込み）	（円）	200
対基準価額比率	（％）	1.99
当期の収益	（円）	200
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	8

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	203.05円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	2.51
(d) 分配準備積立金	2.68
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	208.25
(f) 分配金	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	8.25

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2016.8.19~2017.2.20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.647%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,865円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.413)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	64	0.651	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2016年8月19日から2017年2月20日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	194,072.223	190,000	2,485,435.611	2,460,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年8月19日から2017年2月20日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	137,373	41,891	30.5	—	—	—
コール・ローン	4,582,659	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	千口 9,089,981.374	千円 8,961,812	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末
	口 数	口 数 評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,961,812	94.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	503,478	5.3
投資信託財産総額	9,465,292	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年2月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,465,292,533円
コール・ローン等	303,478,897
投資信託受益証券(評価額)	8,961,812,636
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	1,000
未収入金	200,000,000
(B) 負債	371,614,881
未払収益分配金	184,997,623
未払解約金	121,041,937
未払信託報酬	65,159,509
その他未払費用	415,812
(C) 純資産総額(A - B)	9,093,677,652
元本	9,249,881,181
次期繰越損益金	△ 156,203,529
(D) 受益権総口数	9,249,881,181口
1万口当り基準価額(C / D)	9,831円

\* 期首における元本額は11,427,051,697円、当期中における追加設定元本額は472,684,201円、同解約元本額は2,649,854,717円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,831円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は156,203,529円です。

■損益の状況

当期 自2016年8月19日 至2017年2月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	253,399,124円
受取配当金	253,432,348
受取利息	1,950
支払利息	△ 35,174
(B) 有価証券売買損益	△ 32,652,910
売買益	17,041,108
売買損	△ 49,694,018
(C) 信託報酬等	△ 65,575,321
(D) 当期損益金(A + B + C)	155,170,893
(E) 前期繰越損益金	△ 110,481,416
(F) 追加信託差損益金	△ 15,895,383
(配当等相当額)	( 2,326,463)
(売買損益相当額)	(△ 18,221,846)
(G) 合計(D + E + F)	28,794,094
(H) 収益分配金	△ 184,997,623
次期繰越損益金(G + H)	△ 156,203,529
追加信託差損益金	△ 15,895,383
(配当等相当額)	( 2,326,463)
(売買損益相当額)	(△ 18,221,846)
分配準備積立金	5,312,950
繰越損益金	△ 145,621,096

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	187,823,803円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,326,463
(d) 分配準備積立金	2,486,770
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	192,637,036
(f) 分配金	184,997,623
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	7,639,413
(h) 受益権総口数	9,249,881,181口

収益分配金のお知らせ	
1 万口当り分配金	200円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、2月20日現在の基準価額（1万口当り9,831円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			公社債組入比率	投資受組 資益入	信託証券比率	純資産総額
		税金	込	み				
1期末（2016年2月18日）	円 8,895		円 125	% △ 9.8	% 0.0	% 99.2	百万円 2,930	
2期末（2016年8月18日）	8,092		175	△ 7.1	0.0	99.6	2,289	
3期末（2017年2月20日）	9,071		220	14.8	0.0	99.0	1,820	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

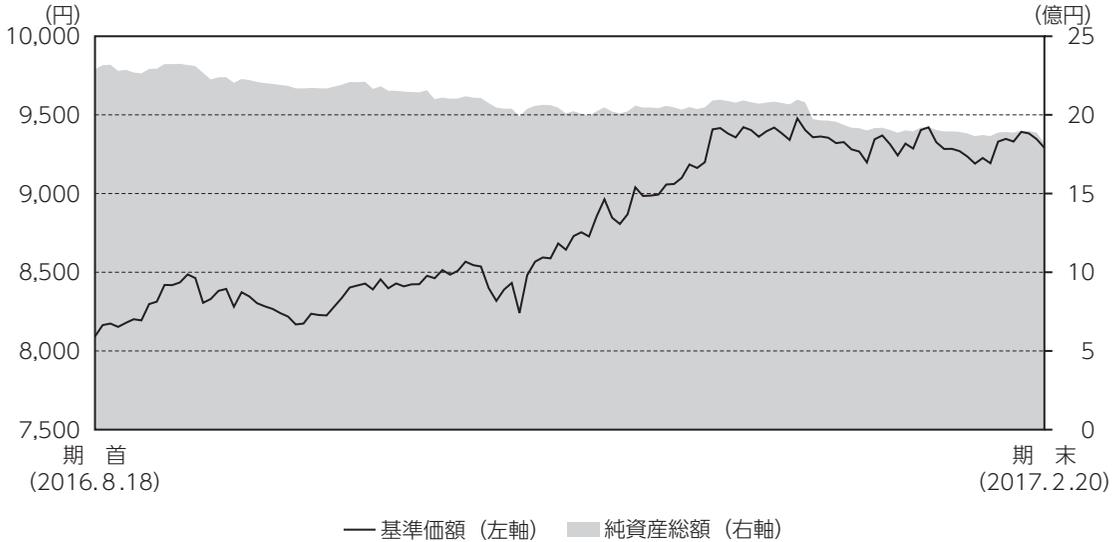
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：8,092円

期末：9,071円（分配金220円）

騰落率：14.8%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、為替が円安となったことや主にC o C o債（※）が堅調な推移となったことから基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率	率				
(期首) 2016年 8月18日	円 8,092	% -	% 0.0		% 99.6	
8 月末	8,419	4.0	0.0		99.6	
9 月末	8,228	1.7	0.0		99.1	
10月末	8,545	5.6	0.0		99.7	
11月末	8,868	9.6	0.0		98.9	
12月末	9,341	15.4	-		99.5	
2017年 1 月末	9,326	15.2	0.0		98.6	
(期末) 2017年 2月20日	9,291	14.8	0.0		99.0	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016.8.19~2017.2.20)

## ■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は上昇しました。

期の初めは、英国のEU（欧州連合）離脱派の勝利による動揺も落ち着き、買い戻しの動きから金融ハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。その後2016年11月に入ると、米国大統領選挙におけるトランプ氏の勝利を受けて米国金利が急騰したことや、英国の金融機関が足元の低金利環境を考慮し永久劣後債の初回コールを行なわない方針を示したことなどを背景に、金融ハイブリッド証券市場は軟調に推移しました。しかし12月以降は、トランプ新政権の拡張的な財政政策への期待を背景に投資家のリスク選好の動きが継続し、金融ハイブリッド証券を含むクレジット市場は全般的に堅調に推移しました。資産別では資本性の高いC o C o債が堅調でした。

## ■為替相場

為替相場は円安米ドル高となりました。

米ドル円相場は円安米ドル高となりました。特に、2016年11月の米国大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、米ドル高となりました。また、内外金利差の拡大や米国の利上げ観測の強まりなども米ドル高の要因となりました。

## 前期における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

主として、ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」といいます。）への投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券等からの収益を享受することをめざします。

## ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016.8.19~2017.2.20)

## ■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持しました。

## ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

G-SIFIs（金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。資産別では、優先証券（従来型）、C o C o債、米国優先証券を中心に投資を行ないました。国・地域別では規制強化により財務改善がより進んでいる米国の金融機関の比率を高めとしました。

## ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は220円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年8月19日 ～2017年2月20日	
当期分配金（税込み）	（円）	220
対基準価額比率	（％）	2.37
当期の収益	（円）	220
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	7

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	223.25円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	0.32
(d) 分配準備積立金	3.43
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	227.01
(f) 分配金	220.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	7.01

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2016.8.19~2017.2.20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.646%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,803円です。
（投 信 会 社）	(19)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(36)	(0.413)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0.650	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2016年8月19日から2017年2月20日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国 内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	16,334.532	15,000	859,171.273	749,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年8月19日から2017年2月20日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	137,373	41,891	30.5	—	—	—
コール・ローン	4,582,659	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口 1,977,380.328	千円 1,801,788	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末
	口 数	口 数 評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,801,788	95.2
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	90,623	4.8
投資信託財産総額	1,892,413	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年2月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,892,413,694円
コール・ローン等	70,623,740
投資信託受益証券(評価額)	1,801,788,954
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	1,000
未収入金	20,000,000
(B) 負債	71,755,061
未払収益分配金	44,156,622
未払解約金	14,043,086
未払信託報酬	13,469,475
その他未払費用	85,878
(C) 純資産総額(A - B)	1,820,658,633
元本	2,007,119,203
次期繰越損益金	△ 186,460,570
(D) 受益権総口数	2,007,119,203口
1万口当り基準価額(C/D)	9,071円

\* 期首における元本額は2,829,068,410円、当期中における追加設定元本額は20,824,198円、同解約元本額は842,773,405円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,071円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は186,460,570円です。

■損益の状況

当期 自2016年8月19日 至2017年2月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	47,345,085円
受取配当金	47,351,837
受取利息	772
支払利息	△ 7,524
(B) 有価証券売買損益	205,773,288
売買益	253,091,388
売買損	△ 47,318,100
(C) 信託報酬等	△ 13,555,353
(D) 当期損益金(A + B + C)	239,563,020
(E) 前期繰越損益金	△ 372,435,427
(F) 追加信託差損益金	△ 9,431,541
(配当等相当額)	( 65,870)
(売買損益相当額)	(△ 9,497,411)
(G) 合計(D + E + F)	△ 142,303,948
(H) 収益分配金	△ 44,156,622
次期繰越損益金(G + H)	△ 186,460,570
追加信託差損益金	△ 9,431,541
(配当等相当額)	( 65,870)
(売買損益相当額)	(△ 9,497,411)
分配準備積立金	1,342,059
繰越損益金	△ 178,371,088

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	44,810,234円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	65,870
(d) 分配準備積立金	688,447
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	45,564,551
(f) 分配金	44,156,622
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,407,929
(h) 受益権総口数	2,007,119,203口

収益分配金のお知らせ	
1 万口当り分配金	220円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、2月20日現在の基準価額（1万口当り9,071円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2017年2月20日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を21ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2016年8月19日から2017年2月20日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
613	国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258			
645	国庫短期証券 2017/2/20	17,010,400			
611	国庫短期証券 2016/9/5	12,530,219			
642	国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144			
629	国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294			
619	国庫短期証券 2016/10/11	7,720,160			
632	国庫短期証券 2016/12/12	7,380,262			
620	国庫短期証券 2016/10/17	7,150,250			
623	国庫短期証券 2016/10/31	6,010,184			
638	国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2017年2月20日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（41,751,959千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2017年2月20日現在									
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率				
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満		
国債証券	千円 6,040,000	千円 6,040,276	% 14.4	% -	% -	% -	% -	% 14.4	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2017年2月20日現在							
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	647	国庫短期証券	% -	千円 10,000	千円 10,000	2017/02/27	
	648	国庫短期証券	% -	2,820,000	2,820,106	2017/03/06	
	631	国庫短期証券	% -	1,580,000	1,580,077	2017/03/10	
	649	国庫短期証券	% -	1,630,000	1,630,092	2017/03/13	
合 計	銘 柄 数	金 額	4銘柄	6,040,000	6,040,276		

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第7期（決算日 2016年12月9日）

（計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

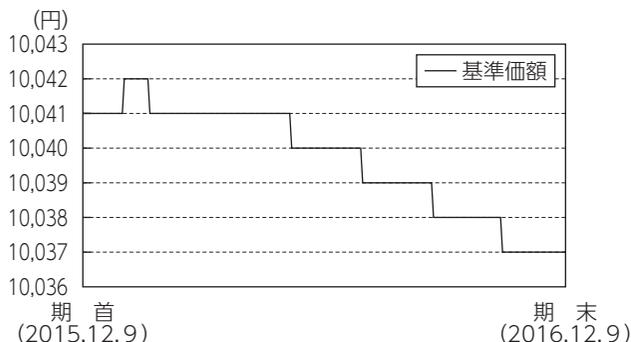
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率 %
	騰 落 率 %	騰 落 率 %	
(期首)2015年12月9日	10,041	—	51.6
12月末	10,041	0.0	51.7
2016年1月末	10,042	0.0	90.7
2月末	10,041	0.0	51.1
3月末	10,041	0.0	2.0
4月末	10,041	0.0	7.5
5月末	10,040	△0.0	0.1
6月末	10,040	△0.0	2.0
7月末	10,039	△0.0	19.3
8月末	10,038	△0.0	46.5
9月末	10,038	△0.0	26.0
10月末	10,037	△0.0	3.4
11月末	10,037	△0.0	26.6
(期末)2016年12月9日	10,037	△0.0	29.1

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,041円 期末：10,037円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
国債証券	215,986,756	2,822,446 (233,210,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

買 付			売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
591	国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605	575	国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
601	国庫短期証券 2016/7/19	18,510,383	342	2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
613	国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258	100	5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
611	国庫短期証券 2016/9/5	15,210,394			
596	国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241			
588	国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428			
609	国庫短期証券 2016/8/22	8,580,187			
629	国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294			
610	国庫短期証券 2016/8/29	7,920,152			
619	国庫短期証券 2016/10/11	7,720,160			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うち8B格以下 組入比率	残存期間別組入比率
	千円	千円	%	%	%
国債証券	12,370,000	12,370,239	29.1	-	29.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末	
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	632 国庫短期証券	-	7,380,000	7,380,059	2016/12/12
	634 国庫短期証券	-	2,070,000	2,070,043	2016/12/19
	635 国庫短期証券	-	2,920,000	2,920,135	2016/12/26
合計	銘柄数 金額	3銘柄	12,370,000	12,370,239	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	千円	%
公社債	12,370,239	27.2		
コール・ローン等、その他	33,049,576	72.8		
投資信託財産総額	45,419,816	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期	末
<b>(A) 資産</b>	<b>45,419,816,005円</b>	
コール・ローン等	33,049,294,532	
公社債(評価額)	12,370,239,552	
その他未収収益	281,921	
<b>(B) 負債</b>	<b>2,970,027,930</b>	
未払金	1,470,027,930	
未払解約金	1,500,000,000	
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>42,449,788,075</b>	
元本	42,294,564,193	
次期繰越損益金	155,223,882	
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>42,294,564,193口</b>	
<b>1万口当り基準価額(C/D)</b>	<b>10,037円</b>	

\* 期首における元本額は62,535,131,959円、当期中における追加設定元本額は110,785,944,225円、同解約元本額は131,026,511,991円です。  
 \* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクロー

ン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-49,795,838円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 3,988,832円、U S短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 4,984円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信 - 日経平均レバレッジ・インデックス13,026,074,887円、ダイワ上場投信 - 日経平均ダブルインバース・インデックス7,057,921,466円、ダイワ上場投信 - T O P I Xレバレッジ(2倍) 指数1,434,536,786円、ダイワ上場投信 - T O P I Xダブルインバース(-2倍) 指数757,087,194円、ダイワ上場投信 - 日経平均インバース・インデックス11,055,796,865円、ダイワ上場投信 - T O P I Xインバース(-1倍) 指数2,230,635,146円、ダイワ上場投信 - J P X日経400レバレッジ・インデックス901,494,652円、ダイワ上場投信 - J P X日経400インバース・インデックス4,402,808,262円、ダイワ上場投信 - J P X日経400ダブルインバース・インデックス31,802,045円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト・マネー・ポートフォリオ185,052,355円、ダイワ・ブルベア・セレクト・ドル高円安ポートフォリオ160,376,323円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ76,963,963円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L Tレード-48,811,188円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権音(つちおと) - 11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド、マネー・ポートフォリオ395,846,364円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド、マネー・ポートフォリオ91,481,943円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 4,981,569円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - 100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - ーイーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - ーイーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - ーイーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース1,496,804円、

## ダイワ・マネーストック・マザーファンド

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型  
米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグ  
ルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

### ■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,210,382円
受取利息	△ 3,627,074
その他収益金	281,921
支払利息	△ 12,865,229
(B) 有価証券売買損益	△ 1,217,528
売買益	236,035
売買損	△ 1,453,563
(C) その他費用	△ 176,405
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 17,604,315
(E) 前期繰越損益金	256,659,974
(F) 解約差損益金	△525,706,324
(G) 追加信託差損益金	441,874,547
(H) 合計(D + E + F + G)	155,223,882
次期繰越損益金(H)	155,223,882

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



# ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

# ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

## 追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)

### 第3期 (決算日2017年1月18日)

### ●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	無期限	
運用方針	<p>① ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を旨として運用を行います。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。</p> <p>② マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高度に維持します。</p> <p>③ マザーファンドにおけるハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行する銘柄を中心に投資を行います。</p> <p>④ ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。</p>	
	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * を主要投資対象とします。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	① 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ② 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	① 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ② 株式への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。</p> <p>② 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「投資態度」に基づいて運用を行います。</p>	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」 「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」は、このたび第3期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館  
お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-3240-8608

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

## ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 分 配 金 騰 落 中 率			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	金 騰 落 中 率			
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000		円 -	% -	% -	% -	百万円 8,000
1期(2016年1月18日)	9,843		193	0.4	89.3	-	11,224
2期(2016年7月19日)	9,748		261	1.7	95.2	-	11,259
3期(2017年1月18日)	9,741		277	2.8	95.4	-	9,189

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落	率			
(期 首) 2016年7月19日	円 9,748		% -	% 95.2	% -	% -
7月末	9,834		0.9	95.8	-	-
8月末	9,989		2.5	98.9	-	-
9月末	9,948		2.1	96.3	-	-
10月末	10,011		2.7	100.4	-	-
11月末	9,722		△0.3	99.9	-	-
12月末	9,906		1.6	98.8	-	-
(期 末) 2017年1月18日	10,018		2.8	95.4	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

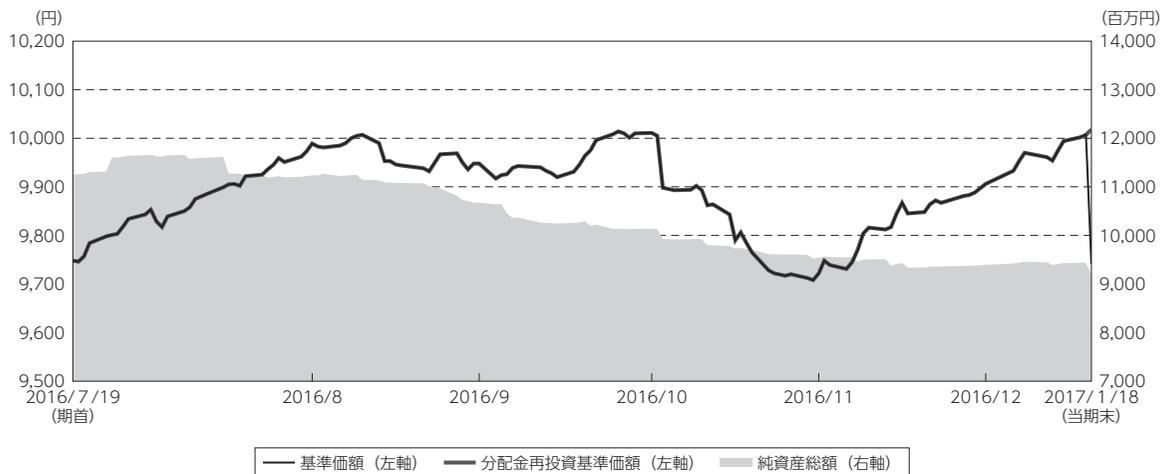
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

（2016年7月20日～2017年1月18日）



期首：9,748円

期末：9,741円（既払分配金（税込み）：277円）

騰落率：2.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2016年7月19日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

### ○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比2.8%の上昇\*となりました。

\*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### <値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇

#### <値下がり要因>

- ・為替のヘッジ・コスト

**投資環境**

（2016年7月20日～2017年1月18日）

当期のハイブリッド証券市場については、全般としては堅調に推移しました。

期初は、イギリスの欧州連合（EU）離脱決定による動揺も落ち着き、買い戻しの動きからハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。その後2016年11月に入ると、米大統領選挙におけるトランプ氏の勝利を受け、米国金利が急騰したことや、イギリスおよび欧州の金融機関が相次いで、足元の低金利環境を考慮し発行する永久劣後債の初回コールを行わない方針を示したことなどを背景に、ハイブリッド証券市場は軟調に推移しました。しかし12月に入ると、米国金利の上昇は継続する一方で、投資家のリスク選好の動きが継続し、ハイブリッド証券を含むクレジット市場は堅調に推移しました。証券種別では資本性の高いCoCo債が堅調だった一方で、米国金利上昇の影響を受けた米国優先証券が相対的に軟調でした。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2016年7月20日～2017年1月18日）

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。なお、当ファンドの外貨建資産については、高い為替ヘッジ比率を維持しました。

**<マザーファンド>**

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。

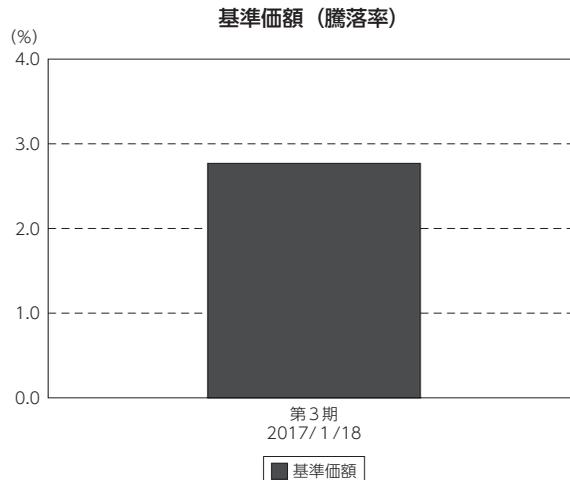
ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、従来型の優先証券については、期初の組入比率をやや引き下げました。劣後債については利回り水準が魅力的であるとして徐々に組入比率を引き上げました。また、バリュエーション上の魅力が増した米国優先証券の組入比率を徐々に引き上げた一方、価格が上昇したCoCo債については一部利益確定の売却を行い、組入比率を徐々に引き下げました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年7月20日～2017年1月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

（2016年7月20日～2017年1月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、277円（1万口当たり、税込み）といたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第3期
	2016年7月20日～ 2017年1月18日
当期分配金	277
（対基準価額比率）	2.765%
当期の収益	276
当期の収益以外	0
翌期繰越分配対象額	22

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

## 今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

### <マザーファンド>

世界経済は、イギリスのEU離脱決定による影響は限定的なものに留まり、引き続き米国を中心とした先進国経済が回復し新興国の景気減速に歯止めがかかることで緩やかな成長が続くとみています。米国経済は、引き続き個人消費などの最終需要は底堅く、トランプ新政権による拡張的な財政政策による経済成長の底上げが期待されます。ユーロ圏経済は、イギリスのEU離脱による影響は軽微なものに留まり、ユーロ安や欧州中央銀行（ECB）による金融緩和政策の継続などを背景に、景気後退には至らず、緩やかな景気回復が続くとみています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容が次第に明らかになりつつある中で、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組が引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にバーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2016年7月20日～2017年1月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	28 (27) ( 0) ( 1)	0.287 (0.271) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)  (監 査 費 用) (そ の 他)	1 ( 0)  ( 0) ( 1)	0.012 (0.003)  (0.004) (0.005)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	29	0.299	
期中の平均基準価額は、9,901円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2016年7月20日～2017年1月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 772,135	千円 673,585	千口 4,367,013	千円 3,991,790

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2016年7月20日～2017年1月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2017年1月18日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期 首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 12,742,847	千口 9,147,968	千円 8,940,309

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2017年1月18日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 8,940,309	% 94.2
コール・ローン等、その他	551,964	5.8
投資信託財産総額	9,492,273	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（10,928,067千円）の投資信託財産総額（11,344,397千円）に対する比率は96.3%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=112.83円、1ユーロ=120.75円、1英ポンド=139.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年1月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	19,342,613,305	
コール・ローン等	29,695,986	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	8,940,309,787	
未収入金	10,372,607,532	
(B) 負債	10,152,699,612	
未払金	9,861,216,915	
未払収益分配金	261,325,102	
未払信託報酬	29,778,438	
未払利息	77	
その他未払費用	379,080	
(C) 純資産総額(A - B)	9,189,913,693	
元本	9,434,119,231	
次期繰越損益金	△ 244,205,538	
(D) 受益権総口数	9,434,119,231口	
1万口当たり基準価額(C / D)	9,741円	

- (注) 期首元本額 11,550,666,066円、期中追加設定元本額 325,840,723円、期中一部解約元本額 2,442,387,558円。当期末現在における1口当たり純資産額 0.9741円。  
 (注) 当期末現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△244,205,538円です。

○損益の状況（2016年7月20日～2017年1月18日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 61,984	
支払利息	△ 61,984	
(B) 有価証券売買損益	283,557,518	
売買益	1,831,241,688	
売買損	△ 1,547,684,170	
(C) 信託報酬等	△ 30,168,435	
(D) 当期損益金(A + B + C)	253,327,099	
(E) 前期繰越損益金	△ 222,129,097	
(F) 追加信託差損益金	△ 14,078,438	
(配当等相当額)	( 12,960,326)	
(売買損益相当額)	(△ 27,038,764)	
(G) 計(D + E + F)	17,119,564	
(H) 収益分配金	△ 261,325,102	
次期繰越損益金(G + H)	△ 244,205,538	
追加信託差損益金	△ 14,078,438	
(配当等相当額)	( 13,614,128)	
(売買損益相当額)	(△ 27,692,566)	
分配準備積立金	7,308,231	
繰越損益金	△ 237,435,331	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 第3期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(260,871,028円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(13,614,128円)および分配準備積立金額(7,762,305円)より分配対象収益額は282,247,461円(10,000口当たり299円)であり、うち261,325,102円(10,000口当たり277円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	277円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

## ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		円	円	%				
(設定日) 2015年8月20日	10,000	円	円	%	-	%	-	百万円 2,580
1期(2016年1月18日)	9,397		188	△4.2	90.3	-	-	3,086
2期(2016年7月19日)	8,415		234	△8.0	94.8	-	-	2,384
3期(2017年1月18日)	9,010		238	9.9	97.9	-	-	1,839

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		円	%			
(期 首) 2016年7月19日	8,415	円	%	94.8	%	-
7月末	8,372		△ 0.5	96.8	-	-
8月末	8,415		0.0	97.9	-	-
9月末	8,232		△ 2.2	97.0	-	-
10月末	8,560		1.7	100.0	-	-
11月末	8,898		5.7	97.9	-	-
12月末	9,387		11.6	97.3	-	-
(期 末) 2017年1月18日	9,248		9.9	97.9	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

（2016年7月20日～2017年1月18日）



期首：8,415円

期末：9,010円（既払分配金（税込み）：238円）

騰落率：9.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2016年7月19日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

### ○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比9.9%の上昇\*となりました。

\*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### <値上がり要因>

- ・円安/米ドル高が進行したこと
- ・円安/ユーロ高が進行したこと
- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇

#### <値下がり要因>

- ・円高/英ポンド安となったこと

**投資環境**

（2016年7月20日～2017年1月18日）

当期のハイブリッド証券市場については、全般としては堅調に推移しました。

期初は、イギリスの欧州連合（E U）離脱決定による動揺も落ち着き、買い戻しの動きからハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。その後2016年11月に入ると、米大統領選挙におけるトランプ氏の勝利を受け、米国金利が急騰したことや、イギリスおよび欧州の金融機関が相次いで、足元の低金利環境を考慮し発行する永久劣後債の初回コールを行わない方針を示したことなどを背景に、ハイブリッド証券市場は軟調に推移しました。しかし12月に入ると、米国金利の上昇は継続する一方で、投資家のリスク選好の動きが継続し、ハイブリッド証券を含むクレジット市場は堅調に推移しました。証券種別では資本性の高いCoCo債が堅調だった一方で、米国金利上昇の影響を受けた米国優先証券が相対的に軟調でした。

為替市場において、円ドル・レートは、米大統領選挙後の米国金利上昇を受けて、大幅な円安ドル高となりました。また、円ユーロ・レートも円ドル相場の動きに連れて円安ドル高となりました。一方、円ポンド・レートは11月までにイングランド銀行による追加緩和観測や、E U離脱リスクが意識されたことなどから円高ポンド安が進んでいたため、米大統領選挙以降の円安ポンド高と相殺し、前期末比でほぼ横ばいとなりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2016年7月20日～2017年1月18日）

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

**<マザーファンド>**

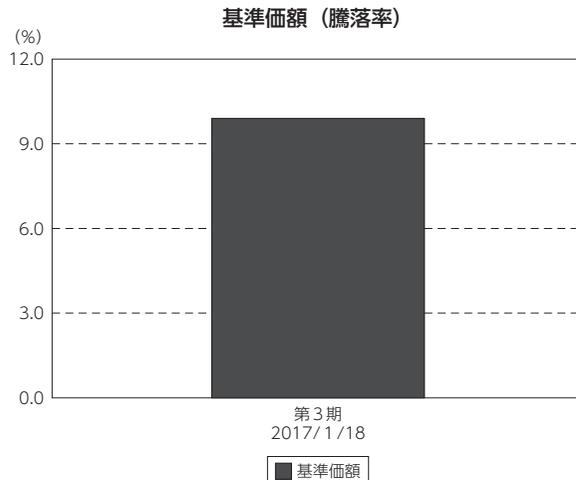
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、従来型の優先証券については、期初の組入比率をやや引き下げました。劣後債については利回り水準が魅力的であるとして徐々に組入比率を引き上げました。また、バリュエーション上の魅力が増した米国優先証券の組入比率を徐々に引き上げた一方、価格が上昇したCoCo債については一部利益確定の売却を行い、組入比率を徐々に引き下げました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年7月20日～2017年1月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

（2016年7月20日～2017年1月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、238円（1万口あたり、税込み）といたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第3期
	2016年7月20日～ 2017年1月18日
当期分配金	238
（対基準価額比率）	2.574%
当期の収益	238
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	34

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

## 今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

### <マザーファンド>

世界経済は、イギリスのEU離脱決定による影響は限定的なものに留まり、引き続き米国を中心とした先進国経済が回復し新興国の景気減速に歯止めがかかることで緩やかな成長が続くとみています。米国経済は、引き続き個人消費などの最終需要は底堅く、トランプ新政権による拡張的な財政政策による経済成長の底上げが期待されます。ユーロ圏経済は、イギリスのEU離脱による影響は軽微なものに留まり、ユーロ安や欧州中央銀行（ECB）による金融緩和政策の継続などを背景に、景気後退には至らず、緩やかな景気回復が続くとみています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容が次第に明らかになりつつある中で、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組が引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にバーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2016年7月20日～2017年1月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	25 (23) ( 0) ( 1)	0.287 (0.271) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)  (監 査 費 用) (そ の 他)	1 ( 0)  ( 0) ( 0)	0.014 (0.003)  (0.005) (0.006)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	26	0.301	
期中の平均基準価額は、8,644円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2016年7月20日～2017年1月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 68,824	千円 60,809	千口 874,858	千円 801,000

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2016年7月20日～2017年1月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2017年1月18日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期 首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 2,685,984	千口 1,879,951	千円 1,837,276

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2017年1月18日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 1,837,276	% 97.0
コール・ローン等、その他	57,010	3.0
投資信託財産総額	1,894,286	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（10,928,067千円）の投資信託財産総額（11,344,397千円）に対する比率は96.3%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=112.83円、1ユーロ=120.75円、1英ポンド=139.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年1月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,894,286,708	
コール・ローン等	10,019	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（評価額）	1,837,276,689	
未収入金	57,000,000	
(B) 負債	54,877,899	
未払収益分配金	48,589,457	
未払信託報酬	6,180,442	
その他未払費用	108,000	
(C) 純資産総額(A - B)	1,839,408,809	
元本	2,041,573,835	
次期繰越損益金	△ 202,165,026	
(D) 受益権総口数	2,041,573,835	口
1万口当たり基準価額(C / D)	9,010	円

(注) 期首元本額 2,833,528,029円、期中追加設定元本額 70,704,691円、期中一部解約元本額 862,658,885円。当期末現在における1口当たり純資産額 0.9010円。

(注) 当期末現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△202,165,026円です。

○損益の状況（2016年7月20日～2017年1月18日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	175,984,971	
売買益	203,908,032	
売買損	△ 27,923,061	
(B) 信託報酬等	△ 6,288,442	
(C) 当期損益金(A + B)	169,696,529	
(D) 前期繰越損益金	△ 303,979,159	
(E) 追加信託差損益金	△ 19,292,939	
(配当等相当額)	( 1,791,061)	
(売買損益相当額)	(△ 21,084,000)	
(F) 計(C + D + E)	△ 153,575,569	
(G) 収益分配金	△ 48,589,457	
次期繰越損益金(F + G)	△ 202,165,026	
追加信託差損益金	△ 19,292,939	
(配当等相当額)	( 1,885,527)	
(売買損益相当額)	(△ 21,178,466)	
分配準備積立金	5,140,699	
繰越損益金	△ 188,012,786	

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第3期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(53,073,630円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(1,885,527円)および分配準備積立金額(656,526円)より分配対象収益額は55,615,683円(10,000口当たり272円)であり、うち48,589,457円(10,000口当たり238円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	238円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2017年1月18日現在）

<ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド>

下記は、ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド全体（11,027,920千口）の内容です。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 債券種類別開示

区分	当 期			末				
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 75,720	千米ドル 74,423	千円 8,397,201	% 77.9	% 40.1	% 77.9	% -	% -
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	1,000	1,006	121,583	1.1	-	1.1	-	-
イタリア	3,500	4,135	499,325	4.6	-	4.6	-	-
フランス	385	369	44,627	0.4	-	0.4	-	-
オランダ	1,250	1,237	149,410	1.4	-	1.4	-	-
スペイン	2,800	2,837	342,628	3.2	2.2	3.2	-	-
その他	5,150	5,503	664,494	6.2	3.8	6.2	-	-
イギリス	千英ポンド 2,600	千英ポンド 2,502	349,499	3.2	-	3.2	-	-
合計	-	-	10,568,769	98.1	46.1	98.1	-	-

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国（外貨建）公社債 個別銘柄開示

銘柄	柄	当 期			末		
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	ハイブリッド証券等						
	BANK OF AMERICA CORP	6.3	3,000	3,204	361,551	2099/9/10	
	BARCLAYS BANK PLC	7.7	1,000	1,039	117,336	2099/10/25	
	BBVA INTL PREF UNIPERSON	5.919	4,520	4,480	505,529	2099/10/18	
	BNP PARIBAS	4.375	1,806	1,817	205,095	2026/5/12	
	BPCE SA	4.5	2,435	2,394	270,196	2025/3/15	
	CHUBB CORP	6.375	2,060	1,957	220,808	2037/4/15	
	CITIGROUP INC	6.25	3,300	3,465	390,955	2099/8/15	
	CITIGROUP INC	6.125	1,900	1,990	224,559	2099/11/15	
	COUNTRYWIDE CAPITAL III	8.05	3,375	4,177	471,355	2027/6/15	
	CREDIT AGRICOLE ACAFP	6.637	3,200	3,080	347,516	2099/11/30	
	CREDIT AGRICOLE SA	8.125	1,350	1,431	161,459	2099/12/23	
	CREDIT SUISSE GROUP	7.5	2,373	2,485	280,463	2099/12/11	
	CREDIT SUISSE GROUP	6.25	2,500	2,454	276,913	2099/12/18	
	CREDIT SUISSE GUERNSEY	1.59567	2,350	2,267	255,870	2099/11/15	
	CREDIT SUISSE GUERNSEY	5.86	1,268	1,252	141,368	2099/11/15	

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（適格機関投資家専用）

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
		%	千 米 ド ル	千 米 ド ル	千 円		
	ハイブリッド証券等	DNB BANK ASA	6.5	600	612	69,081	2099/3/26
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.375	1,000	1,026	115,769	2099/11/10
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.7	525	540	61,033	2099/11/10
		INTESA SANPAOLO SPA	5.017	2,600	2,412	272,212	2024/6/26
		INTESA SANPAOLO SPA	5.71	2,000	1,916	216,211	2026/1/15
		MORGAN STANLEY	5.45	1,700	1,719	193,968	2099/7/15
		PROGRESSIVE CORP	6.7	3,000	2,932	330,873	2037/6/15
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	7.64	4,200	3,974	448,414	2099/9/30
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	8.625	3,397	3,477	392,386	2099/12/31
		SOCIETE GENERALE	5.922	2,700	2,694	304,068	2099/10/5
		SOCIETE GENERALE	1.74872	4,700	4,553	513,729	2099/10/5
		STANDARD CHARTERED PLC	6.409	5,600	4,480	505,478	2099/7/30
		WELLS FARGO & CO	5.875	3,000	3,176	358,376	2099/12/15
		XL CAPITAL LTD	6.5	4,261	3,408	384,614	2099/10/15
小	計					8,397,201	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	ハイブリッド証券等	ALLIANZ SE	3.099	1,000	1,006	121,583	2047/7/6
イタリア	ハイブリッド証券等	ASSICURAZIONI GENERALI	10.125	800	1,043	125,977	2042/7/10
		UNICREDITO ITALIANO SPA	6.95	2,700	3,091	373,347	2022/10/31
フランス	ハイブリッド証券等	BNP PARIBAS	2.25	385	369	44,627	2027/1/11
オランダ	ハイブリッド証券等	DEMETER (ZURICH INS)	3.5	500	515	62,288	2046/10/1
		ELM BV (SWISS REIN CO)	2.6	750	721	87,122	2099/9/1
スペイン	ハイブリッド証券等	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	8.875	1,200	1,284	155,130	2099/10/14
		BANCO SANTANDER SA	6.25	700	655	79,187	2099/12/12
		SANTANDER ISSUANCES	3.25	300	304	36,729	2026/4/4
		SANTANDER ISSUANCES	3.125	600	592	71,581	2027/1/19
その他	ハイブリッド証券等	AVIVA PLC	6.125	750	875	105,675	2043/7/5
		BARCLAYS PLC	8.0	2,250	2,396	289,347	2099/12/15
		HSBC HOLDINGS PLC	6.0	1,150	1,201	145,092	2099/9/29
		LLOYDS BANKING GROUP PLC	6.375	1,000	1,030	124,379	2099/12/27
小	計					1,822,069	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	ハイブリッド証券等	MELLON CAPITAL III	1.87469	2,600	2,502	349,499	2066/9/5
合	計					10,568,769	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付けを入れております。



## ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

第1期（決算日2016年7月19日）

（計算期間：2015年8月20日～2016年7月19日）

### ●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	①世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） <sup>*</sup> に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目差して運用を行います。 <sup>*</sup> C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関（関連会社等を含みます。）が発行する銘柄を中心に投資を行います。 ③ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。
主要運用対象	世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） <sup>*</sup> を主要投資対象とします。 <sup>*</sup> C o C o条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	①外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ②株式への投資割合には、制限を設けません。

### アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-3240-8608

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	騰 落	中 率			
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000	% -	% -	% -	百万円 10,580
1期(2016年7月19日)	8,874	△11.3	94.8	-	13,691

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落	率			
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000	% -	% -	% -	% -
8月末	9,912	△0.9		91.1	-
9月末	9,756	△2.4		93.7	-
10月末	10,027	0.3		95.9	-
11月末	10,199	2.0		96.5	-
12月末	9,939	△0.6		95.6	-
2016年1月末	9,883	△1.2		91.6	-
2月末	9,045	△9.6		92.7	-
3月末	9,204	△8.0		91.4	-
4月末	9,072	△9.3		95.0	-
5月末	9,277	△7.2		95.8	-
6月末	8,474	△15.3		96.4	-
(期 末) 2016年7月19日	8,874	△11.3		94.8	-

(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

※参考指数について  
当マザーファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、参考指数を設けておりません。

## 運用経過

A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

## 期中の基準価額等の推移

(2015年8月20日～2016年7月19日)

## ○期中の基準価額の推移



## ○基準価額等の推移

基準価額は、設定来では11.3%の下落となりました。

## ○基準価額の主な変動要因

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・保有債券のクーポン収入

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・円高/米ドル安が進行したこと。
- ・円高/英ポンド安が進行したこと。
- ・円高/ユーロ安が進行したこと。
- ・保有債券の価格下落

(2015年8月20日～2016年7月19日)

**投資環境**

当期のハイブリッド証券市場については、全般としては小幅な上昇となりました。

期初から2016年初にかけては、世界的な景気減速懸念や原油価格の下落などを背景にハイブリッド証券市場はやや軟調に推移しました。2月に入って、原油価格の下落や欧州の一部の金融機関に対する信用懸念から、資本性の高いCoCo債をはじめとしてハイブリッド証券は大きく下落しました。その後、市場のリスク回避姿勢が和らぐと、ハイブリッド証券市場も堅調に推移しました。しかし、6月に入って、イギリスの欧州連合（EU）離脱懸念が高まり、最終的に離脱が決定すると、イギリスやユーロ圏の金融機関が発行するCoCo債は下落しました。一方で米国の優先証券はイギリスのEU離脱決定の影響は限定的で、相対的に堅調に推移しました。その後期末にかけては、リスク回避姿勢が後退し、ハイブリッド証券市場は全般に堅調に推移しました。

為替市場において、円ドル・レートおよび円ユーロ・レートは、株式市場の下落や、原油価格の低迷、イギリスのEU離脱懸念などを背景にリスク回避的な円買いが続き、大きく円高ドル安、円高ユーロ安が進行しました。円ポンド・レートはイギリスのEU離脱懸念の影響を強く受け、離脱決定により急激な円高ポンド安となりました。

**運用概況**

(2015年8月20日～2016年7月19日)

当マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs (Global Systemically Important Financial Institutions) に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。なお、当マザーファンドの外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

その結果、従来型の優先証券については、利回り水準が魅力的であるとして徐々に組入比率を引き上げました。米国優先証券については、バリュエーションを勘案して売買を行い、期末にかけては徐々に組入比率を引き下げました。CoCo債については、相対的に割高であると判断し、2015年末にかけて組入比率を引き下げ、その後の下落局面で割安となった銘柄を買い入れ、期末にかけて組入比率を引き上げました。劣後債については利回り水準が魅力的であるとして徐々に組入比率を引き上げました。

**今後の運用方針**

世界経済は、イギリスのEU離脱決定による影響は限定的なものに留まり、引き続き先進国経済が回復し新興国の景気減速に歯止めがかかることで緩やかな成長が続くとみています。米国経済は、製造業でも回復の兆しが現れており、個人消費など最終需要も底堅く、引き続き安定した成長が続くと予想しています。ユーロ圏経済は、イギリスのEU離脱決定による影響に留意する必要がありますが、ユーロ安や欧州中央銀行（ECB）による金融緩和などを背景に、景気後退には至らず、緩やかな景気回復が続くとみています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容が次第に明らかになりつつある中で、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組が引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にパーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。イギリスのEU離脱が決定したことにより、短期的には欧州、特にイギリスのハイブリッド証券市場は変動が大きくなることが予想されますが、銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2015年8月20日～2016年7月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 1 (0)	% 0.014 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(そ の 他)	(1)	(0.010)	
合 計	1	0.014	
期中の平均基準価額は、9,526円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年8月20日～2016年7月19日)

公社債

			買 付 額	売 付 額	
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 12,984	千米ドル 12,969	
		ハイブリッド証券等	241,188	139,502	
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ	
		ドイツ	ハイブリッド証券等	1,913	—
		イタリア	ハイブリッド証券等	2,971	—
		オランダ	ハイブリッド証券等	2,820	—
		スペイン	ハイブリッド証券等	1,185	—
		その他	ハイブリッド証券等	1,083	—
	イギリス	ハイブリッド証券等	千英ポンド 14,098	千英ポンド 5,251	

(注) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) -印は該当なし。

○利害関係人との取引状況等

(2015年8月20日～2016年7月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2016年7月19日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国 (外貨建) 公社債 債券種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千米ドル 100,278	千米ドル 100,166	千円 10,615,676	% 77.5	% 24.3	% 76.9	% 0.6	% -
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	2,000	1,921	225,367	1.6	-	1.6	-	-
イタリア	3,000	2,958	347,089	2.5	-	2.5	-	-
オランダ	2,800	2,876	337,396	2.5	-	2.5	-	-
スペイン	1,200	1,223	143,499	1.0	1.0	1.0	-	-
その他	1,100	1,121	131,558	1.0	-	1.0	-	-
イギリス	千英ポンド 7,450	千英ポンド 8,409	1,180,987	8.6	1.7	8.6	-	-
合 計	-	-	12,981,575	94.8	27.0	94.2	0.6	-

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国 (外貨建) 公社債 個別銘柄開示

銘	柄	当 期			末		
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	ハイブリッド証券等						
	BANK OF AMERICA CORP	3.95	3,400	3,468	367,596	2025/4/21	
	BARCLAYS BANK PLC	7.75	4,000	4,225	447,765	2023/4/10	
	BBVA INTL PREF UNIPERSON	5.919	3,745	3,726	394,910	2099/10/18	
	BNP PARIBAS	4.375	2,460	2,524	267,585	2026/5/12	
	BNP PARIBAS	7.625	3,000	3,056	323,901	2099/9/30	
	BPCE SA	4.5	3,800	3,790	401,668	2025/3/15	
	CITIGROUP INC	6.25	3,300	3,489	369,843	2099/8/15	
	COUNTRYWIDE CAPITAL III	8.05	3,375	4,220	447,321	2027/6/15	
	CREDIT AGRICOLE ACAFP	6.637	3,200	3,206	339,841	2099/11/30	
	CREDIT AGRICOLE SA	8.375	4,459	4,994	529,367	2099/10/13	
	CREDIT AGRICOLE SA	8.125	2,900	2,968	314,641	2099/12/23	
	CREDIT SUISSE AG	6.5	2,500	2,664	282,363	2023/8/8	
	CREDIT SUISSE GROUP AGPR	7.5	2,923	2,981	315,975	2099/12/11	
	CREDIT SUISSE GUERNSEY	1.3176	2,350	2,244	237,845	2099/11/15	
	DAI-ICHI LIFE INSURANCE	4.0	3,250	3,274	347,018	2099/7/24	
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.375	1,000	1,007	106,774	2099/11/10	
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.7	1,900	1,927	204,320	2099/11/10	
	HSBC HOLDINGS PLC	6.875	750	768	81,472	2099/12/1	

ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

銘柄	柄	当 期 末					償還年月日	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額				
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			
		%	千米ドル	千米ドル	千円			
	ハイブリッド証券等	INTESA SANPAOLO SPA	5.017	2,600	2,439	258,530	2024/6/26	
		INTESA SANPAOLO SPA	5.71	2,000	1,952	206,898	2026/1/15	
		LLOYDS BANKING GROUP PLC	3.1	800	805	85,367	2021/7/6	
		MORGAN STANLEY	5.45	4,100	4,018	425,827	2099/7/15	
		NORTHGROUP PFD CAP CORP	6.378	4,750	4,759	504,361	2099/10/15	
		PROGRESSIVE CORP	6.7	3,000	2,775	294,135	2037/6/15	
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	7.64	5,500	5,209	552,066	2099/9/30	
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	7.5	1,415	1,330	140,963	2099/12/31	
		SANTANDER ISSUANCES	5.179	1,000	1,017	107,818	2025/11/19	
		SOCIETE GENERALE	5.922	4,440	4,495	476,433	2099/10/5	
		STANDARD CHARTERED BANK	6.409	5,600	5,196	550,756	2099/7/30	
		UBS GROUP AG	6.875	2,500	2,491	264,072	2099/3/22	
		WELLS FARGO & CO	7.98	3,000	3,180	337,016	2099/9/15	
		XL CAPITAL LTD	6.5	4,261	2,944	312,082	2099/10/15	
		ZFS FINANCE USA TRUST V	6.5	3,000	3,011	319,132	2037/5/9	
	小	計				10,615,676		
	ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
	ドイツ	ハイブリッド証券等	DEUTSCHE BANK AG	4.5	2,000	1,921	225,367	2026/5/19
	イタリア	ハイブリッド証券等	UNICREDIT SPA	4.375	3,000	2,958	347,089	2027/1/3
	オランダ	ハイブリッド証券等	COOPERATIEVE RABOBANK UA	6.625	2,800	2,876	337,396	2099/12/29
	スペイン	ハイブリッド証券等	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	8.875	1,200	1,223	143,499	2099/10/14
	その他	ハイブリッド証券等	DANSKE BANK AS	5.875	1,100	1,121	131,558	2099/10/6
	小	計				1,184,911		
	イギリス			千英ポンド	千英ポンド			
	ハイブリッド証券等	BARCLAYS BANK PLC	14.0	2,650	3,305	464,244	2099/6/15	
		HBOS CAPITAL FUNDING LP	6.461	2,000	2,118	297,536	2099/11/30	
		HSBC BNK CAO FND STERLING	5.862	1,000	1,043	146,468	2099/4/7	
		NATIONAL CAPITAL TRUST	5.62	300	307	43,135	2099/12/17	
		SOCIETE GENERALE	8.875	1,500	1,635	229,603	2099/6/16	
	小	計				1,180,987		
	合	計				12,981,575		

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付けを入れております。

## ○投資信託財産の構成

(2016年7月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 12,981,575	% 88.5
コール・ローン等、その他	1,688,429	11.5
投資信託財産総額	14,670,004	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (13,385,592千円) の投資信託財産総額 (14,670,004千円) に対する比率は91.2%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート (各1通貨単位当たり) は、1米ドル=105.98円、1ユーロ=117.30円、1英ポンド=140.43円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年7月19日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	14,670,004,589 円
コール・ローン等	722,504,090
公社債 (評価額)	12,981,575,751
未収入金	790,333,354
未収利息	163,926,691
前払費用	11,664,703
(B) 負債	978,897,897
未払金	568,895,588
未払解約金	410,000,000
未払利息	1,861
その他未払費用	448
(C) 純資産総額(A - B)	13,691,106,692
元本	15,428,832,115
次期繰越損益金	△ 1,737,725,423
(D) 受益権総口数	15,428,832,115口
1万口当たり基準価額(C / D)	8,874円

(注) 当初設定元本額 10,580,000,000円、期中追加設定元本額 7,158,931,045円、期中一部解約元本額 2,310,098,930円。当期末現在における1口当たり純資産額 0.8874円。

(注) 当期末現在において、当マザーファンド受益証券を組み入れているペビーファンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

## &lt;組入元本額の内訳&gt;

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	(適格機関投資家専用)	12,742,847,157円
A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	(適格機関投資家専用)	2,685,984,958円

## ○お知らせ

該当事項はありません。

## ○損益の状況 (2015年8月20日～2016年7月19日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	680,025,197 円
受取利息	680,065,447
支払利息	△ 40,250
(B) 有価証券売買損益	△ 2,306,167,000
売買益	263,163,872
売買損	△ 2,569,330,872
(C) 保管費用等	△ 1,697,667
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 1,627,839,470
(E) 追加信託差損益金	△ 281,464,083
(F) 解約差損益金	171,578,130
(G) 計(D + E + F)	△ 1,737,725,423
次期繰越損益金(G)	△ 1,737,725,423

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。